



日本家族看護学会 NEWS Letter

発行日 2010.9.29
日本家族看護学会
広報・渉外担当 発行

2009年度 国際家族看護学会学術集会 in アイスランド参加報告

名古屋大学医医学部保健学科 浅野みどり

名古屋大学大学院医学系研究科博士課程 門間晶子、古澤亜矢子

2010年4月14日Icelandエイヤフィヤトラヨークトルの噴火の影響によるヨーロッパの空域閉鎖の混乱は、みなさんの記憶にも新しいことでしょう。

噴火のわずか10か月前、2009年6月2-5日に第9回国際家族看護学会がレイキャビックで開催され、博士課程の院生と共に参加しました。約20カ国約470名の参加者のうち、本国の方は200名弱、日本からは45名ほどの参加でした。アイスランドは人口わずか31万人（日本の地方都市の人口より少ない！）なので、首都のレイキャビックも本当に小さな街でしたが、地熱発電によるクリーンエネルギーが豊富とのことでした。唯一の観光、ブルーラグーンはすてきでした！

記念すべきこととして、International Family Nursing Association (IFNA) のthe first formal Meeting が会期中に開催されました。第10回国際

家族看護学会は、いよいよ来年に京都で開催れます。ぜひ、みなで参加して世界の家族看護に携わる実践者・研究者と交流の機会をもちましょう！



The first formal Meeting of IFNA



ブルーラグーン



閉会セレモニー 民族衣装での合唱



参加した仲間たちと森山先生、浅野先生

2011年度6月25・26・27日 国際家族看護学会 in KYOTO 開催

2011年6月25～27日には国際家族看護学会が日本家族看護学会の主催で京都で開催されます。初めての国際学会参加となる会員の皆様も少なくないと思います。この機会に、ぜひとも国際学会に参加して世界の看護に遭遇してみましよう。さて、ここで国際家族看護学会参加に関するお得な情報をお知らせいたします。

<日本家族看護学会会員のみの特典>

特典1：国際家族看護学会に参加費(事前登録35,000円、当日参加40,000円)には、日本家族看護学会学術集会参加費が含まれます。つまり、国際学会の参加費のみで、国内の学術集会にも同時に参加できるということです。

特典2：少しだけ国際学会に参加してみたいという方。日本家族看護学会に参加される方は1日に付き2万円の追加参加費で国際学会に参加することができます。(例：日本家族看護学術集会8,000円(事前登録)+国際家族看護学会1日のみ参加20,000円 合計28,000の参加費となります。)

詳しくは、ホームページ(<http://www.internationalfamilynursing.org/>)をご覧ください。

*発表演題の締め切りは、2010.12.5(日)です。こちらの方もよろしくお祈いします(目指せ！国際デビュー！！)。

ホームページ(<http://www.ifnc2011.org/japan/abstract-submission.html>)を併せてご覧ください。

日本家族看護学会

【事務局】

〒260-0014

千葉市美浜区若葉2-10-1

千葉県立保健医療大学健康科学部

Tel/Fax:

043(272)2869

E-mail:

family_chiba_u_2007@yahoo.

co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://square.umin.ac.jp/jarfn/>

日本家族看護学会

＜広報・渉外担当＞

泊祐子、浅野みどり、

甘佐京子、山本真実、

古澤亜矢子



メンバーのみんなと記念写真！

＜家族看護学の関連学会での拡がり＞

家族研究・家族療法学会 ワークショップに参加してー

畠山とも子（福島県立医科大学）、手島美子（東邦大学大学院医学研究科）、

亀井三貴子（岡村製作所医務室）、久持修（やまき心理臨床オフィス）、

児玉久仁子（東京慈恵会医科大学附属病院）

日本家族研究・家族療法学会 第27回福岡大会が、2010年6月4日5日に福島県郡山市にて開催され、6月6日は学会主催のワークショップがあった。この学会は、精神・心理臨床領域だけでなく、看護、社会福祉・ソーシャルワーク領域、学校教育・児童福祉領域、高齢者介護領域、さらに心身医学領域（リエゾン精神医学、心身医学、緩和ケアなど）さまざまな家族も援助の対象にする多くの職種の人たちで構成されている。

私たちは、『看護における家族支援～看護師が遭遇しやすい場面を取り上げて～』のテーマでワークショップを行った。定員30名のところに看護職の方だけでなく、臨床心理士の方も参加して頂いた。

臨床の現場で遭遇しがちな“対応の難しい”場面を取り上げ、家族看護の基礎となる知識を踏まえて、どのような点に注意して関わる必要があるのか具体的に学べるよう構成した。参加者からは、「私たちの振る舞いがこんなに家族に影響するなんて思わなかった」「何をポイントに観察したらいいのかわかった」などの声上がり、ビデオやロールプレイを取り入れた学習効果の高さを実感した。

私たちは、看護教育・実践、臨床心理、産業カウンセラー等の職種が集まり家族看護実践センターとして活動し、8年目となる。今後は、基礎編だけでなく、応用編の研修も企画していきたいと考えているので、興味・関心のある方はご参加ください。よろしくお願いします。

（文責：畠山とも子）



＜国際家族看護学会 プレカンファレンスのお知らせ＞

日時：2011年6月24日（金） 午前・午後：各3コース

場所：キャンパスプラザ京都（京都駅前）

参加費用 1コース 3000円

＜セッションのテーマ＞

午前

1. グループワークで学ぶカルガリー式家族アセスメント・介入モデル：家族の苦悩のドラマ

2. 地域密着参加型研究手法を用いた家族のヘルスプロモーション：アセスメント、介入、評価の戦略

3. 家族看護における研究計画書の書き方

午後

4. スピリチュアリティと病い：苦悩する家族の回復と癒しの方法論：介入と評価
5. 解釈学的現象学を用いた家族へのナラティブ研究



＜国際家族看護学会との同時開催のお知らせ＞

第18回日本家族看護学会学術集会 in Kyoto

日時：2011年6月25日（土）・26日（日）

場所：国立京都国際会館（大会議場）

「新しい家族看護の探求

ーパラダイムへの原点回帰と未来共創ー」

大会長：法橋尚宏（神戸大学大学院保健学研究科）

* 詳しくは学会ホームページへ

 ＊ ＜編集後記＞ ＊
 ＊ 今年度より、広報・渉外のお手伝いをさせていただくことになりました。家族看護の末端で研究にも取り組んできましたが、“家族”という実体のない大きな存在に常に圧倒されてきました。“家族”とは、“家族看護”とは、そんな問いかけにまだまだ十分な解答を見いだせない自分がいます。家族看護学会の広報活動を通じて、皆様へ“家族看護”をピーアールしながら、自分自身にとっての“家族看護”を、考える機会にしたいと思っています。（甘佐京子） ＊
